



INFORMATION



本紙広報モニターを募集します

期 間／5月中旬～2021年4月中旬
内 容／本紙7月号～2021年4月号(年4回)の内容やデザインに関するアンケートへの回答
対 象／静岡市内在住の中学生以上の方
 20名程度 ※多数選考
締 切／4月24日(金)まで
問合せ／総務課 TEL.054-254-5213

本紙・本会ホームページ 広告掲載のご案内

本紙への広告、本会ホームページへのバナー広告を掲載して下さる企業等を募集しています。ご関心のある方は、ぜひお問い合わせください。
掲載期間／2021年3月31日まで(最長1年)
受付期間／随時受付
 ※広告枠には限りがあります。ご希望に添えない場合がありますのでご了承ください。
 ※申請後、本会規則に従い審査を行い掲載の決定を行います。
問合せ／総務課 TEL.054-254-5213



本紙点字版・CD版のご案内

本紙の点字版・デジCD版・音楽CD版を作成し、視覚障がいのある方に無料貸出を行っています。ぜひ、ご活用ください。
対 象／静岡市内在住の障害者手帳をお持ちの方
申込み／4月1日(水)より受付
問合せ／総務課 TEL.054-254-5213

地域の福祉活動に 赤い羽根共同募金を活用しませんか

～2020年度 赤い羽根共同募金助成申請説明会～
 社会福祉活動の事業費や機器・施設整備費の助成を希望する団体に、赤い羽根共同募金の概要や申請方法についての説明を行います。
と き／4月13日(月) 10:00～
ところ／中央福祉センター(葵区城内町)
対 象／市内で社会福祉を目的に事業を行っている民間の非営利活動団体(NPO法人、社会福祉法人、ボランティア団体など)
申込み／不要
 (当日、直接会場にお越しください)
問合せ／静岡市共同募金委員会
 TEL.054-255-7127
 個別相談もお電話等で承ります。

ファミリー・サポート・センター まかせて会員養成講座

子育て家庭をサポートする「まかせて会員(有償活動)」を養成する講座(全5回)を開催します。この春から新しい活動を始めようとする方、子育て支援をしてみませんか。
と き／
 ① 5月12日(火) 9:30～15:30
 ② 5月14日(木) 9:30～16:00
 ③ 5月20日(水) 9:30～16:00
 ④ 5月22日(金) 9:30～13:00
 ⑤ 5月27日(水) 9:00～12:30
 ⑥ 5月28日(木) 9:00～12:30
ところ／
 ①③⑤ 静岡中央子育て支援センター(葵区呉服町2丁目)
 ②④ 静岡市役所静岡庁舎本館(葵区追手町)
 ⑥ 清水中央子育て支援センター(清水区島崎町)
 ※⑤⑥はどちらかの受講となります。
 本講座は年3回開催します。他の回と組合せて受講しても構いません。
対 象／どなたでも(参加無料)
問合せ／静岡市ファミリー・サポート・センター
 静岡 TEL.054-254-2283
 清水 TEL.054-355-3333

2020年度
本紙の発行月が
変わります

2020年度より、本紙発行が4月・7月・10月・1月の年4回となります。SNSなどさまざまな情報媒体に対応し、よりタイムリーにお届けできるよう、これまで掲載してきた講座や研修の開催情報のインターネットでの発信を強化し、より充実した広報活動を行っていきます。本紙を含めた本会の広報啓発活動にご理解とご協力をお願いします。

静岡市社協

- 芦川 歴様
- 望月 威男様
- 和代様
- 坂野明彦様
- 秋山ユキ様
- 大石誠様
- 平山典子様
- 飯島舞様
- 川嶋晃様
- 福祉のまつり実行委員会様
- 静岡県中小企業家同友会
- 障がい者問題委員会様
- 真如苑様
- 一般社団法人 生命保険協会
- 静岡県協会様
- 船越陶楽クラブ様
- 清水仏教婦人会様
- 清水羽衣ライオネスクラブ一同様
- 日蓮宗静岡県中部宗務所
- 第八区寺院輪番奉仕団様
- ジャトコ株式会社
- 蒲原地区ジャトコフesta実行委員会様
- マックスバリュ東海株式会社
- マックスバリュマークイズ静岡店様
- マックスバリュ清水興津店様
- ザ・ビッグ蒲原店様
- 有限会社大慶様
- 匿名1件

(順不同)



心あたたまるご寄付
ありがとうございます

2019年
12月1日～
2020年 1月31日



窓口の ご案内

○静岡市社会福祉協議会事務局(静岡市中央福祉センター内)	葵区城内町1-1	TEL.054-254-5213	FAX.054-252-2420
○葵区地域福祉推進センター(静岡市地域福祉交流プラザ内)	葵区城東町24-1	TEL.054-249-3183	FAX.054-209-0128
○駿河区地域福祉推進センター(静岡市地域福祉共生センター内)	駿河区南八幡町3-1	TEL.054-280-6150	FAX.054-286-9545
○清水区地域福祉推進センター(はーとびあ清水内)	清水区宮代町1-1	TEL.054-371-0292	FAX.054-367-2460
同	(白銀すこやかセンター内)	清水区蒲原721-4	TEL.054-385-5554
同	(清水保健福祉センター由比分館内)	清水区由比北田450	FAX.054-385-5682
			TEL.054-376-0294
			FAX.054-376-0416

静岡市社会福祉協議会
広報紙

みんなの 社協 しずおか

広げよう福祉の輪
つなげよう地域の輪

編集・発行 ● 静岡市社会福祉協議会
発行部数 ● 263,000部

2020

4

vol.
100

☆静岡市社会福祉協議会ホームページアドレス <https://www.shizuoka-shakyo.or.jp> Eメール info@shizuoka-shakyo.or.jp



おかげさまで
100号を迎えました

★「みんなの社協しずおか」の点訳版・録音CDを貸出しています。詳しくは静岡市社協総務課(TEL.054-254-5213)までお問い合わせください。

みんなの 社協 しずおか

100号までのあゆみを 振りかえって

◆静岡市のできごと ○社協や福祉関係の主な動き

2003(平成15)年

- ◆静岡・清水両市の合併により新「静岡市」が誕生する
- 第3回全国障害者スポーツ大会(静岡大会)が静岡県で初開催される
- 新「静岡市社協」の拠点として静岡・清水両地区センターを設置する

3号 第1回社会福祉大会開催

2003年12月

第1回目から毎年福祉のさまざまな分野で活躍された皆さまの表彰と記念講演を実施しています。



2004 (平成16)年

2005(平成17)年

- ◆静岡市が政令指定都市に移行する
- 第74回全国民生委員児童委員大会(静岡大会)が静岡市で初開催される
- 各区の拠点として区地域福祉推進センターを設置する

11号 地区社協版「地域福祉活動計画」策定

2005年6月

市内初の地区社協の計画として辻地区で策定されました。この計画では、地区社協活動の方向性や活動の在り方を示しています。その後、庵原地区・駒越地区・三保地区でも同様に計画が策定され、中長期を見据えた地域活動づくりが進められています。



本会の発行する「みんなの社協しずおか」が、2003(平成15)年の新静岡市誕生から第100号発行を迎えることが出来ました。この第100号を記念し、これまで発行してきました本紙とともに本会や地域福祉活動のあゆみを振り返ります。

1号 新・静岡市社協誕生

2003年6月

「平成の大合併」による新「静岡市」の誕生を受け、静岡市社協と清水市社協が合併して新法人としてスタートしました。



6号 静岡地区でS型デイサービス始まる

2004年8月

「S型デイサービス」が2003(平成15)年に静岡地区でもスタートしました。この事業は旧清水市で1994(平成6)年に始まり、278会場(2020年2月現在)で運営されています。



点字版と音声版

視覚障がいのある方に本紙の情報をお届けする「点字版」と「音声版」を2007(平成19)年から発行しています。この作成には、録音ボランティアやまびこ、音訳ボランティアひびきの会、就労継続支援B型事業所ワーク春日にご協力いただいています。

2006(平成18)年

- ◆蒲原町と静岡市が合併する

2007(平成19)年

- 国内開催2度目となる第7回国際アビリンピック(障害者技能競技大会)が静岡市で開催される

16号 子どもの笑顔を守るために

2006年4月

誘拐、自殺など、子どもが巻き込まれる事件が相次ぐ中、地域住民や企業が中心となって子どもを見守る取り組みを特集しました。



17号 ボランティア市民活動キャラクター「はとな」誕生

2006年6月

一般公募によって「はとな」が誕生。現在でもさまざまなボランティア活動の中で活用されています。



22号

2007年4月

みんな児童館においでよ

遊びや体験をととして0歳から18歳までの子どもの豊かな心と体を育む児童館。子どもとともに楽しみ、育ちあう地域の大人に支えられ行われるさまざまな活動、子育てサロンやボランティアの活動の特集しました。



2008(平成20)年

- ◆由比町と静岡市が合併する



名称「みんなの社協しずおか」に 込めた思い

社会福祉協議会(以下、「社協」)は、住民、障がい当事者、ボランティア、社会福祉事業者や地域の諸団体などの会員で構成され、地域の福祉課題に基づいて事業活動を進める組織です。地域の皆さまの社協として、誰からも愛される存在になることを願い「みんなの社協しずおか」と名付けました。

17号

2006年6月

地域福祉活動計画策定

民間の地域福祉活動の方策を取りまとめた、2006～2010年(5カ年)の「第1次地域福祉活動計画」が策定されました。現在は、第3次計画が策定されています。



本紙を支えていただく 広報モニターの皆さま

市民目線での紙面作成を目的として2007(平成19)年より本紙のモニター制度を実施しています。10～70代の幅広い世代から延べ150名を超えるモニターの皆さまから掲載内容や紙面構成、興味関心のある話題などについてご意見をいただき、紙面の充実につながられるように努めてきました。ご協力いただきましたモニターの皆さま、ありがとうございました。



2009 (平成21) 年

33号 静岡障害者自立生活センター 30年のあゆみ(特集)

障害者自立生活運動の草分けとなった自立生活センターの30周年にあたり、それまでのあゆみを集めました。



37号 大川地区乗り合い買い物ツアー

大川地区で始まった活動を紹介。現在は、買い物支援・移送支援としてさまざまな地区に活動が広がっています。



これからの本紙への期待

現在の「みんなの社協」は、紙面構成もきれいで、元気で明るい話題を多く取り上げ、読みやすいと感じています。半面、優れた活動をする方などが紹介されることで、福祉の活動は特別な存在と捉えられないかと危惧しています。福祉の世界には、普通の暮らしをしている人もいれば、苦勞して日々の生活を送っている人もいることを紙面から感じられるように、身近な話題も取り上げる工夫をしてもらえたらと思います。広報を通じて「心のバリアフリー」が広がっていくことを期待します。



元本会広報委員長
木村 幸男さん

33号 東海道はとなウォーク

2009年2月

由比町合併を記念して府中宿～由比宿間を2日間に分けて実施しました。2011(平成23)年に府中宿～丸子宿、2013(平成25)年に丸子宿～岡部宿を実施しました。



懐かしの企画① 2008～2013年



「みんなの社協区版」

年2回、各区特色のある紙面でさまざまな活動を紹介しました。

38号 福祉のおまつり

2009年12月

第30回を迎えた「静岡ふれあい広場」。清水の「福祉のまつり」とともに毎年多くの方で賑わいます。



2010 (平成22) 年

◆久能山東照宮本殿、石の間、拜殿が国宝に指定される

2011 (平成23) 年

○第2次地域福祉活動計画(～2014年)を策定する

2012 (平成24) 年

◆新東名高速道路(御殿場～三ヶ日間)開通する
○旧清水市エリアで初となる草薙児童館が新設される

59号 草薙児童館が1周年

2013年6月

草薙児童館の1周年を記念した活動を集めました。この草薙児童館は、生涯学習交流館に併設され、地域活動の拠点として地域の方々に広く活用されています。



2014 (平成26) 年

◆10月の台風18号により静岡市内で大きな被害を受ける



65号 総合相談支援事業はじまる

2014年6月

2013(平成25)年の生活困窮者自立支援法の施行に合わせ、複雑化する生活課題への適切な対応をめざし、総合相談支援事業をスタートしました。



「地域福祉コーディネーター」の設置

地域における支え合う仕組みづくりを支援するため、圏域ごとの担当として設置。その後、2016(平成28)年に静岡市の生活支援体制整備事業を受託し、「生活支援コーディネーター」の役割と合わせて活動しています。



57号 ボランティアはとなバンク

2013年2月

技能や特技のある個人や団体を登録するボランティア人材バンクとして誕生しました。



2013 (平成25) 年

◆三保の松原が「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」として世界文化遺産に登録される

61号 笑顔づくりのお手伝いをいたします

2013年10月

「超高齢社会」「老老介護」など、身近な介護の問題を背景に、地域生活を支える介護事業や、介護の現場を支える活動を特集しました。



懐かしの企画②

2008～2013年

「みんなの社協子ども版」

年1回、市内の小学生を対象に福祉のさまざまな活動を「わかりやすく伝える」をコンセプトに作成しました。



68号 災害ボランティアセンターを立ち上げ

2014年12月

10月、台風被害を受けた方の生活復旧のため、市内初の「災害ボランティアセンター」を災害ボランティア団体や静岡青年会議所などと協働して立ち上げました。現在も、本市の災害発生時に備えた活動や市外での災害発生時の支援活動における協働が行われています。



これからの本紙への期待

「みんなの社協」は見やすく、各号にテーマがあって、手に取りやすいです。また、「静岡市社協」の事業や活動を知るツールになっています。他にも、地域での多様なボランティアなど、自分たちが行っている活動を取り上げられることはうれしいですし、市民の方々にその活動を知ってもらえるきっかけにもなっています。

広報紙はもちろん必要ですが、広報紙に触れる機会が少ない若い世代に情報を届けるためには、SNS

の活用が重要で、紙媒体では難しいタイムリーな情報の発信にもつながると思います。また、紙面づくりに市民の方が参画することが大切だと考えるので、市民の関心のあるテーマや内容などを聞き取ってみても良いと思います。

地域福祉活動計画
評価推進委員会委員長
えはら かつゆき
江原 勝幸さん

77号 介護現場のイメージアップを目指して

介護現場での担い手不足が叫ばれる中、ホームページでの介護現場の魅力を伝える仕組みに取り組む企業を紹介しました。



2016
(平成28)年



2015(平成27)年

- ◆徳川家康公顕彰四百年記念としてさまざまな催事が行われる
- 市立保育園の認定こども園への移行
- 第3次地域福祉活動計画(～2022年)を策定する

72号 元気いきいき! シニアサポーター事業はじまる

65歳以上のシニア世代の社会参加や地域貢献、介護予防を目的とした事業として開始。活動対象は年々拡充され、サポーター登録者7,138名(2020年1月現在)となりました。



75号 地域に広がる支え合いのかたち

「地域共生社会」の実現がコンセプトとして掲げられる中、NPO法人、ボランティア団体、社会福祉法人など多様な主体による支え合いの活動を集めました。



静岡のボランティアネットワークのあゆみ

静岡市のボランティア48年のあゆみとこれからの紹介しました。また、50年の節目となった2017(平成29)年には記念式典が執り行われました。



79号 住民の声から生まれた買い物支援

2016年10月

2011(平成23)年、市内初の地区版ボランティアセンターとして誕生。相談の窓口のほか、常設の居場所としての機能も果たしています。



2017(平成29)年

- 静岡地区ボランティア連絡会が前身団体発足から50周年を迎える

83号 民生委員制度創設100年記念

2017年6月

1917(大正6)年の済世顧問制度がルーツとされる民生委員制度。2017(平成29)年に創設100年を迎えました。



2019(平成31・令和元)年

- はーとぴあ清水が開館20周年を迎える
- 清水地区ボランティア連絡会が前身団体発足から40周年を迎える

93号 福祉のまちづくりに貢献して40年

2019年2月

清水地区ボランティア連絡会が設立40周年を迎えて、連絡会のあゆみと記念講演を集めました。



これからも充実した内容でお届けします

「みんなの社協しずおか」は、地域福祉の動きや取り組まれる活動などについて幅広く知っていただくこと、理解していただくことを目的として発行してきました。17年間には、社会構造の変化や人の暮らしの変化によって起きる課題に対応するためのさまざまな活動が生み出されてきました。本会は広報を通じて市民の皆さまに地域福祉の活動の必要性や意義を感じていただくことによって新たな活動主体や担い手、協力者の創出の輪へとつながっていくことを目指してきました。

「みんなの社協しずおか」は、これからも一人ひとりが自分らしく暮らせる地域社会づくりを目指し、静岡市の地域福祉に関する話題や取り組みなどをお届けしてまいります。

82号 認知症カフェをはじめました

2017年4月

認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)により推進される認知症カフェ。本会の介護事業拠点であるエン・フレンテにて2016(平成28)年より開始しました。



2018(平成30)年

- 駿河区地域福祉推進センターが「みなくる」に移設する

87号 社会福祉法人が取り組む地域貢献活動

2018年2月

2017(平成29)年の社会福祉法改正により義務づけられた社会福祉法人の「公益的な取組を実施する責務」。法制度改正以前より先駆的に展開される社会福祉法人の公益的な支援活動を集めました。



100号 第100号を発行

2020年4月

2003(平成15)年から17年。創刊100号を迎えました。





駿河区

第6回西豊田学区宿泊防災訓練

地域と住民が連携し 互いの思いを確認

西豊田学区地域支え合い体制づくり実行委員会は、2019年11月30日～12月1日に第6回目となる「宿泊防災訓練」を静岡市立豊田中学校（駿河区豊田1丁目）で開催しました。

この訓練は、災害時でも誰ひとり取り残さない「インクルーシブ防災活動」として、地域で暮らす障がい者や高齢者などの要配慮者を住民主体で支える体制づくりを目指して実施しています。

1日目は、ライフラインが停止した想定で行う避難所運営訓練「リアルHUG」では、要配慮者の相談窓口や福祉スペースを設置し、個々のニーズに応じた支援を体験しました。2日目は、防災講座と防災訓練（要配慮者安否確認、移送支援、防災ワークショップ、ペット避難）を行い、中学生から高齢者まで延べ350人以上が参加しました。

他の地区から参加した車椅子を利用される方からは、「こういった避難所があれば安心できる。地元でも同じようにできるといい。」などの声がありました。



災害時を想定したニーズの聞き取り

【問合せ】
駿河区地域福祉推進センター
TEL.054-280-6150

駿河区

地域の居場所「かがやき」

民間施設を利用して ますます広がる地域の居場所

2020年1月、駿河区小黒1丁目に地域住民の誰もが気兼ねなく集まれる居場所「かがやき」がオープンしました。会場は、フットサルスタジアム・ヴィヴァーチェのクラブハウス2階。西豊田地区社会福祉協議会が、地域の支え合い活動の拠点づくりのため、地元住民と調整を進めていたところ、オーナーが快く開放してくれました。

おしゃれな洋風建物・開放感のあるスペース・日当たりの良いバルコニー。公民館とはまた違ったよさがあります。民間施設を利用した居場所が少ない本市において、今後のモデルケースとなるよう活動します。



地域の居場所「かがやき」にお越しください

【地域の居場所 かがやき】

日 時／毎月第2、4水曜日 9:30～12:00
場 所／フットサルスタジアム・ヴィヴァーチェ
（駿河区小黒1丁目5-25）

参加費／100円
（子ども・学生は無料）

【問合せ】
駿河区地域福祉推進センター
TEL.054-280-6150



フットサルスタジアム・ヴィヴァーチェ

駿河区

静岡手をつなぐ育成の会「ラポールみなみ」

新施設の目玉は 常設のギャラリー

就労継続支援B型事業所「ラポールみなみ」は、2019年12月、駿河区登呂5丁目に移転して、新たなスタートを切りました。新施設は、バス停や商業施設も近く、高齢者向けのバリアフリー住宅であったことから、階段昇降機や手すり、段差が少ないといったハード面も充実しています。

利用者が役割分担して行う自主製品の作製では、2019年度のあいネットグループ寄付金助成事業により整備したモノカラープリンターがフル回転。利用者のアート作品をプリントしたカラフルなTシャツやタオルが作られています。また、シニアサポートの方も利用者・スタッフを支えていただくボランティアとして活躍しています。

新施設の目玉は、「ラポールみなみ」のもう一つの柱事業であるアート制作のギャラリー。「地域の方にも鑑賞していただきたい」という思いで常設されました。さまざまなアート作品が飾られ、「常に作品に囲まれていて幸せ」と利用者にも大好評です。

ぜひお気軽にお立ち寄りください。



モノカラープリンターでTシャツへアート作品をプリントします



南向きの施設は
日当たり良好です

【ラポールみなみ】
静岡市駿河区登呂5丁目7-12
TEL.054-284-7684

清水区

NPO法人WAC清水さわやかサービス

みんなの居場所・わくわく亭 「タぐれカフェ」

みんなの居場所・わくわく亭では、2017年11月に法人事務所の移転に合わせて、「タぐれカフェ」をスタートしました。ボランティアスタッフの手料理とアルコール以外の飲み物を用意し（アルコール持込可）、食事と会話を楽しむ大人のための居場所となっています。

「タぐれカフェ」は、ほろ酔い気分で、おしゃべりしながら食事ができる、男性が気軽に行ける場所になればという思いでスタートしました。参加者の半数近くが男性で、日立町以外のさまざまな地域からも集まってきます。

食事を楽しむだけでなく、時には気になる話題をテーマにしたプチセミナーを開催したり、参加者同士が思い出などを聞く場・話す場となっています。

わくわく亭代表の鈴木明与さんは「子どもから大人まで誰もが気軽に立ち寄り、集まれる居場所づくりをしていきたい。居場所に来た参加者が、地域のお手伝いができる人材へと繋げていけたらいいなと思っています。」と、“人”と“地域”を繋いでいきたいという思いを熱く語りました。



毎回たくさんの料理が並んでいます

【タぐれカフェ】
日 時／毎月第3金曜日 18:00～20:30
場 所／NPO法人WAC清水さわやかサービス
（清水区日立町24-17）
会 費／700円
TEL.054-337-1888

身近な地域福祉推進のために 会費へのご理解とご協力をお願いいたします

本会では、市民の皆さまや福祉関係者などと協力し、「一人ひとりが『自分らしく』暮らせる地域社会づくり」を目指しています。

皆さまからいただく会費は、地区社会福祉協議会(以下、「地区社協」)の活動支援をはじめ、地域福祉を推進する事業に活用させていただいております。

地域住民の皆さまの困りごとを受け止め、解決していくには、今以上に地域福祉活動の推進とその担い手である地区社協への支援が不可欠となります。

誰もが安心して暮らすことができる地域づくりのため、本会会費へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

◆地区社協とは？

おおむね小学校区単位で組織された地域の福祉活動を推進する住民組織です。高齢者を支えるS型デイサービスや、子育て世帯を支える子育てサロン・トークの会、困りごと相談窓口となる地区ボランティアセンターの運営などの活動を行なっています。

◆お願いしている会費 (年額)

一般会員 (自治会・町内会加入世帯)	300円	(1世帯)
施設・団体会員 (社会福祉施設・福祉団体)	2,000円	(1口)
賛助会員 (個人)	2,000円	(1口)
特別会員 (企業・事業所)	5,000円	(1口)



【問合せ】 地域福祉推進課 TEL.054-255-7127

私たちは静岡市の地域福祉活動を応援しています。

20歳～64歳の皆様へ 心・身体の病気で日常生活に支障のある方

公的年金の**障害年金**をもらい忘れていませんか？

統合失調症、知的、発達障害、うつ病などの**心の病気**
脳梗塞、がん、人工透析、人工関節、人工肛門、眼、耳
身体の傷病で日常生活に支障のある方、
該当する傷病は**多数**です。「該当するかな？」
と思われる方まずは**無料相談**を実施して
受給例
障害厚生年金2級 うつ病の方 年間130万円
障害基礎年金1級 脳梗塞の方 年間98万円
障害厚生年金3級 人工関節の方は年間59万円
おります。お気軽にお問合わせください。
しずおか障害年金サポートオフィス
運営 みづき社会保険労務士事務所
静岡市葵区御幸町 6-10 静岡マリン8 階 **無料相談 054-263-8558**
しずおか障害年金サポートオフィス 相談室

不動産 お悩み解決 !!
なんでも相談窓口

土地活用 空家 認知症対策 円満相続

一人で悩まず お気楽にどうぞ

初回相談 無料

土地・建物買い取ります (054) **269-5525**

株式会社 あいしん不動産
静岡市駿河区大谷 1 丁目 9-8 免許 (2)13207

静岡県限定の任意売却専門の企業です

住宅ローン 滞納・払えない
税金滞納による 不動産の差押え
不動産 競売回避・取下げ
離婚後 定年後の 住宅ローン

住宅ローン解決実績 No.1
あきらめないでください。
今の家に住み続けられる方法があります。

0120-987-004 静岡県限定
静岡住宅ローンSOS 年中無休 8:00~21:00 任意売却無料相談
経営革新 承認企業 リースバック対応 運営：静岡住宅ローンSOS

マークイズ静岡
すぐとりにあります

外壁・屋根 塗装専門店
プロタイムズ静岡葵店 (株)あおば工房

建物の塗装のことならご相談ください！
● 施工実績 44千棟以上 見積り依頼はこちら
● 診断数 49千棟以上 **0120-108-559**
● 工事満足度 98% **相談無料**

子ども・家族・学校。皆さんの気持ちに寄り添い、つながりをつくります

スクールソーシャルワーカー(以下、SSWr)は、学校生活を送る中で、さまざまな困難に直面している児童・生徒の自己実現に向けた歩みを、社会のつながりの中で支えていく役割を担います。今号は、子どもの「生きる力」を育み、支えるSSWrとして活躍する後藤久美さんにお話を伺いました。

静岡市教育委員会
スクールソーシャルワーカー

後藤
久美
さん



—仕事を選んだきっかけは何ですか？

前職が行政機関で女性相談の相談員をしており、その間に社会福祉士の資格を取得しました。暴力や経済困窮、社会的孤立などさまざまな相談を受けている中で、その家庭環境で暮らす子どもたちは何を感じ、どう過ごしているのか気にはなりつつも、どうすることも出来ない無力感でいっぱいでした。そんな時、学校を通して子ども、保護者と出会い、その方々の歩みに添うSSWrの仕事に就く機会を得ることが出来ました。

—仕事のやりがいは何ですか？

子どもや保護者が、自分の足で最初の一步を踏み出そうとする瞬間、傍に居られることにやりがいを感じます。SSWrは、子どもたちの学校での姿を見たり、家庭での様子を伺ったりする機会があります。どんなことに苦しんでいるのか、何が必要なのか、本人にさえわからないこともあ

ります。その時にSSWrが子どもの可能性に焦点を当てて、何をすべきか、してはいけないのかを見極め支え、そしていつの間にか子ども自身が一人で前に進めた瞬間がうれしいです。

—読者の皆さんにメッセージをお願いします

子どもたちの置かれた現代社会は、過度な期待や干渉、または無関心や不寛容など、どんどん窮屈になっているように思います。大人の思いを押しつけるのではなく、子どもたちのつぶやきに耳を傾け、その気持ちを汲み取っていける社会であればいいと思います。

「SSWrという仕事は、『子どもの最善の利益』を追求し続けるために、日々学び、成長していく必要がある。大変だけど、それが喜び」と話す後藤さん。SSWrがやりがいのある仕事であることがその言葉から伝わりました。

たくさんのご協力、ありがとうございました

2019年度

共同募金運動のご報告

静岡市共同募金委員会
2020年2月7日現在

赤い羽根共同募金(10月～12月)、歳末たすけあい募金(12月)に対し、今年度も温かいご協力をいただき、誠にありがとうございました。今年度の募金実績については、下記のとおりとなります。



赤い羽根共同募金

実績金額 **50,488,993円**
目標額 52,000,000円 (達成率97.1%)

赤い羽根共同募金は次のような事業に役立っています

2020年度に実施する県・市内社会福祉施設・団体の事業や施設整備、本会の地域福祉活動のために使わせていただきます。

歳末たすけあい募金

実績金額 **21,833,680円**
目標額 25,150,000円 (達成率86.8%)

歳末たすけあい募金は次のような事業に役立っています

2019年度に実施した低所得世帯への援護金贈呈事業をはじめ、年末年始の各種地域福祉事業に活用させていただきました。その他、2020年度の地域福祉事業(生活困窮者支援事業等)などに活用されます。



有東山子ども食堂クリスマス会

【問合せ】 静岡市共同募金委員会
TEL.054-255-7127